



ウガンダレポート

2018年4月～12月

| 項 | 目次 |
|---|-------------|
| 1 | メモ、用語集、リスク表 |
| 2 | 国内のニュース |
| 3 | 人道的状況 |

用語集

| | |
|-------|--------------|
| CAR | 紛争兵器研究所 |
| DRC | コンゴ民主共和国 |
| EU | ヨーロッパ連合 |
| MP | 議会議員 |
| WFP | 世界食糧計画 |
| UNHCR | 国連難民高等弁務官事務所 |

この文書は、ジャパン・プラットフォーム内およびその関係者のみの利用に限り、この文書は、JPFセキュリティアドバイザーの同意なく、再配布することを禁じます。

以下文書内で“コメント…”とイタリック体で記載され、後述の文章もイタリック体で記載されている場合、筆者の意見を述べており、事実ではないことがあります。

免責事項：この文書の目的は、情報を分析し、アドバイスを提供することです。ジャパン・プラットフォームは、この文書に基づき、読者がいかなる行動や措置をとった場合でも、責任を負いかねますことご了承ください。

| ロケーション | レベル | コメント | フォーキャスト |
|-------------------|-----|---|--|
| Kampala | 低 | 直近で行われていた抗議デモが暴力的に発展してたものの、市内のリスクレベルは低い。しかしながら、政治的暴力の深刻化は懸念事項であり、リスクレベルを押し上げる可能性がある。 | .2017年に憲法改正が行われ、大統領の年齢制限が撤廃された。多くの人々は、1986年より大統領である Yoweri Museveni 大統領がその権力を維持し、ウガンダを独裁国家に変えてしまうのではないかと恐れている。野党はこれに強く反発しており、Museveni氏は成長する可能性のある野党は潰しにかかるため、ウガンダの安定性に対する主要な脅威となる。 |
| Kampala 以外のウガンダ全域 | 中 | ウガンダは現在大規模に紛争の影響を受けていないものの、アフリカ連合軍のソマリアへの介入は、テロリストによる攻撃の脅威があることを示唆する。ウガンダの隣国南スーダンや、コンゴ民主共和国 (DRC)や中央アフリカ共和国 (CAR)の国境を超えた紛争の近くにおり、脅威が近くに存在すると言える。また、複数の抵抗勢力や市民軍が国境付近で活動している。国際人道支援活動に従事する者が直面する主要な脅威として、道路交通事故や犯罪のリスクがあげられる。警察軍隊は能力が低く、かつ評判が悪く、こうしたリスク因子を抑制する人物は少ない。 | |

1. 国内のニュース



政治的不寛容

人気音楽家で野党の議会議員に転身した **Bobi Wine** 氏（本名：Robert Kyagulanyi）は 2018 年 8 月に逮捕され、拘束の間に拷問を受けていたと報道されている。逮捕を受けて、Kampala で抗議活動をしていた人々は強制的に離散され、結果 1 名が死亡、12 名以上が負傷し逮捕された。Kyagulanyi 氏と共に 3 名の議会議員（MP）は、大統領のパレードの車列に石を投げつけたとして逮捕されたと伝えられている。Kyagulanyi 氏は釈放され、刑務所で拘束中に受けた暴行の負傷を治療するために、米国へ渡航をしようとしたところ、警察に止められた。12 月には、警察は Kyagulanyi 氏のコンサートを中止させ、MP が宿泊していたホテルを襲撃した。MP は逮捕を逃れるためにホテルを後にした。コメント：特に若者に人気のある Kyagulanyi 人気に対する大統領の弾圧は、大統領が Kyagulanyi 氏を権力維持の脅威であると考えていると推測させる。

誇張された難民数

2018 年 5 月に、ウガンダ首相官邸と国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が共同で公式調査を行い、ウガンダは 140 万人ではなく、110 万人の難民を受け入れていることがわかった。

公式調査は、高官が受け入れ難民の数を誇張し、基金の支援を不正に受け取ろうとしていたという申告を受けて実施された。首相官邸の難民弁務高官と、その他シニアスタッフ 3 名が、UNHCR と WFP のスタッフと結託し、難民受け入れ数を誇張した疑いで謹慎処分となった。高官は、偽名の移り住んだ難民を作り出し、100 万ドル以上の支援金をだまし取った。

南スーダンへ違法武器輸出

紛争武器研究所（CAR）の調査によると、ウガンダ政府は、EU が南スーダン内戦の両陣営に対して武器輸出を禁止しているにも関わらず、南スーダン政府に対して違法に小型武器や軍事航空機の輸出に関わっている模様。

数百万ドルに登る取引は、EU に加盟しているブルガリア、スロバキア、ルーマニアから始まり、想定されている最終受領者はウガンダ防衛省であったようだ。

LAKE ALBERT における海軍の衝突

2018 年 7 月、ウガンダ海軍と DRC は 2 ヶ国の国境をまたがる Lake Albert で交戦した。この戦いで 1 名のウガンダ人兵士が殺された。コンゴ共和国の政府は、ウガンダ軍が 12 名のコンゴ人漁師を撃ち殺し、100 人以上を逮捕したことを非難した。コンゴの代表団はウガンダを訪問し、Lake Albert で起こっている問題について話し合ったが、のちにウガンダ裁判所は、35 名のコンゴ人漁師を違法で釣り行為をしたとして 3 年の刑務所服役を命じた。11 月には、コンゴの市民兵が 7 人のウガンダ人漁師を銃撃し殺害したことで、緊張状態が高まった。

LAKE VICTORIA で船が沈没

11 月に Lake Victoria で船が沈没し、少なくとも 35 人が死亡した。この船舶は優雅なクルーズ船として乗客を乗せており、Kampala での週末のアクティビティとして人気を博していた。船は岸の近くで転覆した。この船には 90 人が乗船しており、27 人が救助された。

2. 人道的状況

難民数のサマリー

2018年10月時点で、ウガンダは115万人の難民や隣国の難民申請者を受け入れている。

南スーダン: 785,104 コンゴ共和国: 284,265 ブルンジ: 33,657 ソマリア: 22,064
ルワンダ: 14,313 その他: 14,949 難民総数: 1,154,352

参照すべきドキュメント-“ウガンダ難民対応プラン-南スーダン、ブルンジ、コンゴ共和国からの統合難民受け入れプラン: 2019年1月~2020年12月

<https://reliefweb.int/report/uganda/uganda-country-refugee-response-plan-integrated-response-plan-refugees-south-sudan>

主要な人道支援のニーズ

教育: 難民で、就学年齢である子供の57%が学校に通えておらず、その多くが女の子である。難民の総人口の1/3は若者が占めるが、その多くの人々が学習の機会と雇用の機会がなく苦しんでいる。

生計: ウガンダの多くの難民は所得創出の機会が限られており、難民と受入コミュニティの双方が、一般的な金融サービスへのアクセスの欠如、耕作可能な土地と、水へのアクセスの欠如、市場への弱い繋がり、限られたスキルと少ないの正式な雇用機会に苦しめられている。

栄養: 世界の急性栄養失調率は10%を超え、女性と子供の40%以上が貧血である。

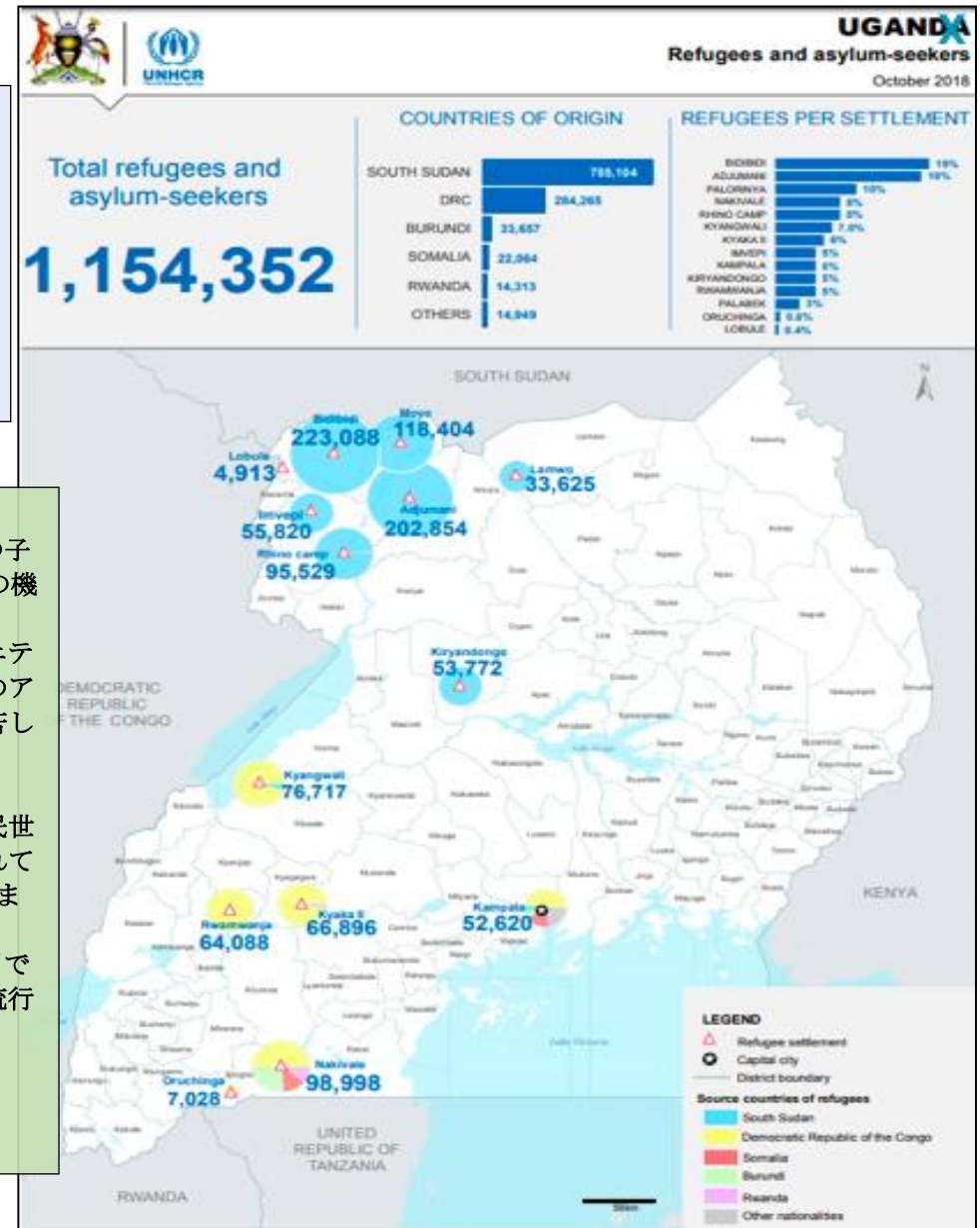
食料安全保障: 難民は、作物を栽培するための土地を利用できるものの、多くの難民世帯にとって、人道支援によって提供される食糧は重要となっている。食料支援が切れてしまうと、ほとんどの難民はクライシス (IPC 3) レベル、深刻な食料難に陥ってしまう。

健康: HIVに罹患している子供や女性にとって、HIV予防や治療、手当は十分に利用でき、容易くアクセスできる状況ではない。ウガンダはコレラを含む、病気の発生や流行を抑えるのに苦労しており、また、エボラ大流行のリスクを抱えたままである。

<https://www.usaid.gov/uganda/food-assistance>

<https://www.unicef.org/appeals/uganda.html>

<http://reporting.unhcr.org/node/5129?y=2019#year>



自然災害 - Bududa 地区 (東部地域) の 12,000 人が地すべりと洪水の被害を受けた。51 人が死亡、858 人が避難し、13 の村の少なくとも 114 人の家が本災害で埋められたと報じられている。人道的ニーズとして、食料、避難所、医療、及び、少なくとも 500 人が利用できる NFI が必要とされている。避難所や食料のために避難している人々が自宅へ帰り始めている。小学校が泥の下に埋められ、200 人以上の生徒が行方不明となった。加えて、農作物は破壊され、動物は殺され、多くの世帯が生活支援を必要としている。人々はコレラなどの水系疾患の危険にさらされている。